

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成27年7月9日 (2015.7.9)

【公開番号】特開2014-18917(P2014-18917A)

【公開日】平成26年2月3日 (2014.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-006

【出願番号】特願2012-160051(P2012-160051)

【国際特許分類】

B 2 6 D 7/18 (2006.01)

B 2 6 D 5/00 (2006.01)

【F I】

B 2 6 D 7/18 E

B 2 6 D 5/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月21日 (2015.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記清浄ユニットは、前記待機位置で前記蓋によって覆われる部分に、前記パッキンとともに、ボールが突出するように付勢されるボールブランジャを有し、  
蓋は、

清浄ユニットが待機位置に達するとボールに嵌合する凹部を有し、

清浄ユニットが移動する際に、待機位置に達するまではボールによって押上げられて清浄ユニットの上面から離隔し、待機位置に達すると凹部にボールが嵌合し、清浄ユニットの上面に接近して、底面がパッキンに密着する、  
ことを特徴とする請求項 4 記載の裁断機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

なお、吸着コンベアテーブル 2 a の両側には、特許文献 1 で開示しているような側方覆いベルト 1 2 a , 1 2 b を設け、裁断テーブル 2 の両側の静止部との間をそれぞれ覆うようにしている。側方覆いベルト 1 2 a , 1 2 b で覆う静止部分の外側には、走行体 7 a , 7 b を走行させる部分を覆うカバーベルト 1 3 a , 1 3 b がそれぞれ設けられる。Y 方向については、ビーム体 8 に沿う両走行体 7 a , 7 b 間が裁断刃 4 の移動範囲となる。一方の走行体 7 a には、裁断機 1 としての制御動作を作業員から指示するためのコントローラ 7 c が設けられる。走行体 7 a , 7 b のうちの一つ、たとえば走行体 7 b には、カム 1 4 が取付けられる。カム 1 4 は、ビーム体 8 で走行体 7 b の近傍となる位置に取付けてもよい。搬入テーブル 2 b および搬出テーブル 2 c の表面は静止面であり、吸着コンベアテーブル 2 a の表面となる搬送面よりも高い位置にある。静止面と搬送面との境界には、搬入側コーム 2 d および搬出側コーム 2 e がそれぞれ設けられる。X 方向の一端側、たとえば搬出側で、裁断テーブル 2 の側方には、支持ユニット 1 1 が設置される。カム 1 4 を設けることによって、走行体 7 b またはビーム体 8 と支持ユニット 1 1 とを連

動させることができる。